



ただひろ しまぐち忠弘



未来に誇れる愛知をめざして!

愛知県議会議員 嶋口 忠弘 常任委員会：農林水産委員会 委員長／特別委員会：アジア競技大会調査特別委員会 委員
全トヨタ労連顧問／アイシン労働組合顧問・専門部員

2月定例議会 令和3年度一般会計当初予算を可決!!

愛知県議会2月定例議会は2月19日から始まり、「日本一元気な愛知」「すべての人が輝く愛知」「日本一住みやすい愛知」の実現に向けた**令和3年度一般会計予算案**(2兆7,163億円)をはじめ、「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」制定など、**74議案を最終日の3月25日に可決**し閉会となりました。

また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う**緊急事態宣言延長対応**、並びに令和3年度当初予算編成に向けた**財源確保のための補正予算案**など**27議案**についても会期中に可決しており、**本議会では計101議案を可決**しました。

その中でも特に令和3年度当初予算については、**極めて厳しい財政状況**ではありますが、新型コロナウイルス感染症の克服はもとより、**ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた成長戦略**にしっかりと取り組み、引き続き**日本の成長エンジンとして我が国の発展をリード**していくため、県民の皆様
の安全・安心の確保に向けた社会基盤整備等も盛り込んだ補正予算と合わせ、**切れ目のない15ヶ月予算**として「**15の柱**」を重点に編成されています。



提案説明する大村知事

令和3年度予算 15の柱

新型コロナウイルス感染症の克服

With/Afterコロナを見据えた成長戦略

1.「Uニア大交流圏」の形成

道路ネットワークの整備や、交通課題を解決するための新技術の積極的な活用など



2.産業首都あいち

新たなサービス提供や、次世代産業創出を図る「知の拠点あいち重点研究プロジェクト」の推進など



3.農林水産業の振興

農作物産地の競争力強化のための施設整備支援や、森林・里山及び都市の緑の整備・保全など



4.次代を創る教育・人づくり

35人学級の小学校第3学年への拡充や、異文化体験等を通じたグローバル人材の育成など



5.安心と支え合いの福祉・社会づくり

生活困窮世帯等の子どもの学習支援や、あいちオレンジタウン構想の推進など



6.安心できる医療体制の構築

がん患者等の妊よう性(妊娠するための力)温存治療や不育症検査費用に対する助成制度の創設など



7.誰もが活躍できる社会づくり

多様なニーズに応じた職業訓練の拡充や、就職氷河期世代や未就職卒業者の就職支援など



8.あいちのグローバル展開

海外進出を図る県内中小企業等への、海外産業情報センターやサポートデスクによる総合的支援など



9.選ばれる魅力的な地域づくり

ジブリパーク整備・ラリージャパン開催支援、更には2026年開催予定のアジア競技大会準備など



10.安全・安心なあいち

交通安全対策の推進とともに、大規模災害時に後方支援を担う新たな防災拠点整備に向けた調査など



11.環境首都あいちの推進

地球温暖化対策の推進や、食品ロス削減の取り組み実施など



12.東三河の振興

次期「東三河振興ビジョン」策定や、東三河スポーツツーリズム推進など



13.地方分権・行財政改革の推進

愛知県人口ビジョン&まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進や、あいちDX推進プランの推進など



代表質問

(抜粋)

2月定例議会の3月2日、自由民主党・新政あいち・公明党の3会派が代表質問を行い、新政あいち県議団からは団長の谷口知美議員（昭和区4期）が登壇し、県政に関する諸課題について質問しました。

主な質問①

コロナ禍における医療機関への支援について

Q

ポストコロナを見据えながら地域の医療提供体制を確保するため、コロナ禍の医療機関支援をどのように行っていくのか。

A 知事
答弁

まず、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れていただいた医療機関には、空床確保や設備整備の補助金に加え、本県独自で、患者1人あたり100万円から400万円の応援金を交付。さらに、本年1月からは、新型コロナウイルス感染症から回復しても、引き続き入院が必要な患者を受け入れる後方医療機関に対して、新たな補助制度を創設。こうした取り組みを継続し、引き続き全力で医療機関、医療従事者を支援するため、新年度予算では794億円を計上。今後も県民の命と健康を守るため、しっかりと医療機関を支援していく。



答弁する大村知事

主な質問②

持続可能な発展に関するエネルギーの取り組みについて

Q

再生可能エネルギーや水素エネルギーの利用拡大についてどのように考え、今後どのように取り組んでいくのか。

A 知事
答弁

本県の温室効果ガス総排出量の約9割は、エネルギーの生産・利用時に化石燃料の燃焼により発生することから、太陽光や風力などの再生可能エネルギーや、利用段階でCO₂を排出しない水素エネルギーの活用は、非常に重要。再生可能エネルギーについては、固定価格買取制度における都道府県別導入容量で、昨年、本県は全国第2位であり、うち住宅用太陽光発電及びバイオマス利用は、全国第1位となっている。こうした実績を十分踏まえながら、エネルギーの地産地消に向けた取り組みの強化など、再生可能エネルギーの導入拡大を促進していく。一方、水素利用の拡大に向け、製造段階でもCO₂の排出量が少ない水素を認証する本県独自の制度を活用し、低炭素水素サプライチェーンの構築を進めている。こうした低炭素水素の供給・利用の拡大など、全国を先導する取り組みを展開し、脱炭素社会の実現に向け、着実に取り組んでいく。

主な質問③

子ども・若者の健やかな成長のための取り組みについて

Q

虐待などで児童養護施設等に暮らす子どもたちの権利を守るための取り組みをどのように進めていくのか。



代表質問する谷口団長

A 知事
答弁

これまで、施設等で暮らす子どもたちに、センターの児童福祉司が定期的に面接し、施設等での暮らしぶりや悩みを子どもたち自身から聞き取るなど、子どもの意見を支援に反映する取り組みを行ってきた。こうした中、児童福祉法が改正され、子どもの意見を聞き調査審議をする第三者機関を、都道府県等の児童福祉審議会などに設置することや、子どもの意見を代弁する意見表明支援員、いわゆる「アドボケイト」を都道府県等が民間支援団体などに委託して配置することなどについて検討を進めており、来年3月を目途に必要な措置を講ずることとしている。本県としては、国の検討状況についての情報収集を行うとともに、他の都道府県における先進事例を調査し、今後、国から具体的な方針等が示された際には速やかに対応できるよう準備を進め、施設等で暮らす子どもたちが健やかに成長できるよう権利を守る仕組みづくりに引き続きしっかりと取り組んでいく。

感染症を克服し、愛知の更なる発展へ

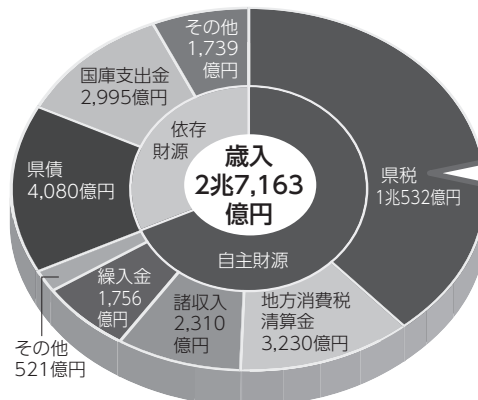
一般会計当初予算のポイント

歳入

県税と地方譲与税の合計が、過去3番目の減収幅となる

新型コロナウイルス感染症の税収への影響が本格的に現れるとともに、全国的な企業収益の悪化により地方譲与税も481億円の減が見込まれ、**県税と地方譲与税の合計で1,618億円にのぼる大幅な減収**となり、当初予算としてはリーマンショックの影響が直撃した2009年度、赤字決算となった1999年度に次ぐ過去3番目の減収幅となる。

本県財政は、単年度の歳入だけで歳出を賄うことができず、**多額の基金取り崩しに依存する予算編成を継続**しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、**収支不足額が近年にない水準に拡大**しており、**極めて厳しい財政状況**にあると言わざるを得ない。



県税の内訳

県民税

- ・個人 2,961億円 (−144億円)
- ・法人 232億円 (−108億円)
- ・利子割 15億円 (−1億円)

事業税

- ・個人 112億円 (−33億円)
- ・法人 2,342億円 (−576億円)

その他(自動車税・地方消費税等) 4,870億円 (−275億円)

合計 1兆532億円 (−1,137億円)

※カッコ内は対前年度の増減を表す

歳出

厳しい財政状況でも、安心・安全に繋がる投資へ

前年度当初予算に対し105.6%となるが、**新型コロナウイルス感染症対策に1,308億円を計上**しており、これを除いて比較すると100.5%となる。

また、**福祉医療関係経費は介護給付費負担金などの伸びにより一貫して増加**が続いているが、この様な状況下であっても、国庫補助金を活用した**道路、河川等の公共事業は、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の初年度分である前年度国経済対策補正分と合わせ、前年度から18.9%の増と大きく上回る額**を確保。

更に、**ジブリパークなどウィズコロナ・アフターコロナを見据えた投資を計画的に進めるとともに、県民の皆様の安全・安心につながる社会基盤整備についても、財源を確保しながら着実に推進**する。

その他195億円
(2,572円)

農林水産費750億円
(9,900円)

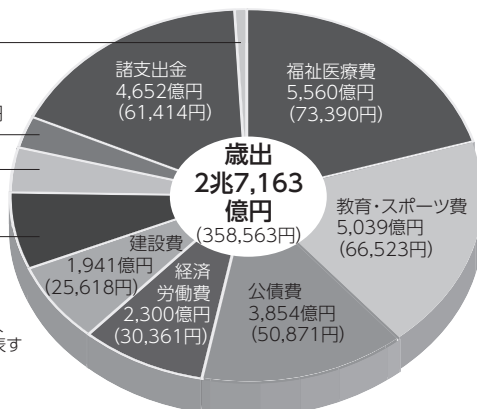
総務企画費
1,099億円
(14,511円)

警察費
1,773億円
(23,403円)

建設費
1,941億円
(25,618円)

経済
労働費
2,300億円
(30,361円)

※カッコ内は県民一人
当たりの歳出額を表す



2021年度(令和3年度)一般会計当初予算に対する議案質疑！！

高齢者等居住安定推進事業の取り組みについて

Q

愛知県の人口に占める65歳以上の高齢化率は、2030年で27.3%と人口の約4分の1を上回り、2045年では33.1%となり人口の約3分の1を65歳以上の高齢者が占めることが見込まれている。**高齢者の居住の安定確保を図るため、「愛知県高齢者居住安定確保計画2030」の6つの基本方針の中核的な役割を担う、サービス付き高齢者向け住宅の供給促進と適正な管理に向けた具体的な取り組みについて質した。**

A 建築局長 答弁

サービス付き高齢者向け住宅の供給促進の取り組みについては、県として、住宅事業者に対し、整備に関する国庫補助や税制優遇措置などの情報提供を積極的に行うとともに、既存建物の空き室を活用して整備コストを低く抑えた事例等を紹介し、供給の促進に努めていく。適正な管理に向けた取り組みについては、事業者に対し、毎年度建物の構造、設備の管理状況や生活支援サービスの提供状況などが、県への登録内容どおりであるか報告を求めるとともに、順次、立入検査を実施し、必要に応じて指導を実施していく。更に、県と同様にサービス付き高齢者向け住宅制度を所管する政令市、中核市と情報共有に努め、これら政令市等と連携して住宅が適正に管理されるよう取り組んでいく。



質問する嶋口議員

暮らし・経済・環境が調和した輝くあいち～危機を乗り越え、愛知の元気を日本の活力に～

「あいちビジョン2030」を策定しました!!

目標年度:2030年度(計画期間:2021年度～2030年度)

4つのめざすべき
愛知の姿

危機に強い
愛知

すべての人が生涯輝き、
活躍できる愛知

イノベーションを
創出する愛知

世界から選ばれる
魅力的な愛知

①危機に強い安全・安心な地域づくり

- 新型コロナウイルス感染症の克服
- 新たな大規模感染症リスク等への対応
- ハード・ソフト両面からの防災・減災対策
- 安心して暮らせる地域づくり



②次代を創る人づくり

- 創造性を伸ばす教育の推進
- 多様性を尊重する教育の推進
- グローバル人材の育成
- 魅力ある学校づくり



③すべての人が生涯にわたって活躍できる社会づくり

- 女性の活躍促進
- 高齢者の社会参加の促進
- 若者や就職氷河期世代などへの支援
- 障害のある人の活躍支援
- 外国人県民の活躍促進
- 人生100年時代の学び直し
- 健康長寿



④安心と支え合いの社会づくり

- 出会いから結婚、妊娠・出産、子育てまで切れ目のない支援
- 地域包括ケアシステムの構築支援
- 障害のある人の地域生活と医療・療育の支援
- 外国人県民の生活支援 ・安心できる医療体制の構築
- 困難を抱える女性・子ども・若者などへの支援



⑤豊かな時間を生み出す働き方が可能な社会づくり

- 新技術を活用した効率的な働き方の促進
- 多様で柔軟な働き方の促進
- ワーク・ライフ・バランスの更なる普及拡大



⑦世界とつながるグローバルネットワークづくり

- Aichi Sky Expoの活用などによるMICEの誘致・開催と国際観光都市の実現
- アジア競技大会を活用した戦略的なネットワークづくり
- グローバル市場の更なる獲得と海外からの投資促進
- 海外からの人材獲得
- 海外とのパートナーシップの構築



⑨選ばれる魅力的な地域づくり

- ジブリパークを活用した圏域全体のプロモーションの展開
- 世界に向け創造・発信する文化芸術の振興
- アジア競技大会始め国内外から注目されるスポーツ大会の開催
- 愛知ならではの観光の促進
- 観光交流拠点としての機能強化、人材育成
- 居住地として選ばれる魅力の創造・発信



⑥イノベーションを巻き起こす力強い産業づくり

- ステーションAIを中核とした国際的なイノベーション創出拠点の形成
- 次世代産業の振興
- 中小・小規模企業の持続的発展と生産性の向上
- 産業人材の育成・確保
- スマート農林水産業等による生産力の強化
- 県産農林水産物の需要拡大



⑧スーパー・メガリージョンのセンターを担う大都市圏づくり

- 中京大都市圏の拠点性の向上
- 交流圏の拡大に向けた戦略的広域連携
- 持続可能でスマートな地域づくり



⑩持続可能な地域づくり

- 脱炭素社会を見据えた地球温暖化対策の推進
- 人と自然との共生の実現
- 循環型社会づくり
- 持続可能な社会を支える人づくり



発行 **しまぐち忠弘事務所**

〒446-0059 愛知県安城市三河安城南町一丁目11番地1

TEL 0566-77-2874 FAX 0566-77-2724

ホームページ <http://www.giin-aiwu.com/shimaguchi/>

